

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6月 5日

吹田市長 様

提出者

住所 吹田市東御旅町11-46

氏名 日本製紙パピリア株式会社 吹田工場
工場長 丸谷 修平

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6381-2255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

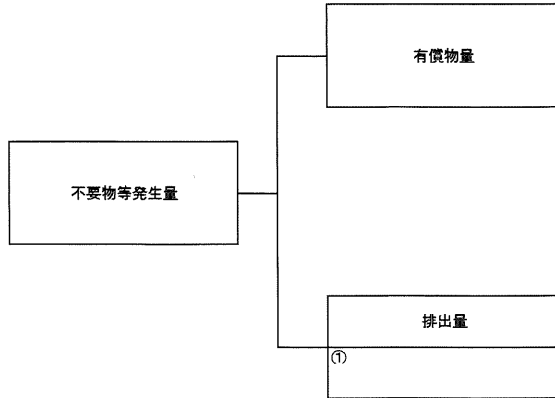
事業場の名称	日本製紙パピリア株式会社吹田工場
事業場の所在地	吹田市東御旅町11-46
事業の種類	パルプ・紙・紙加工製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

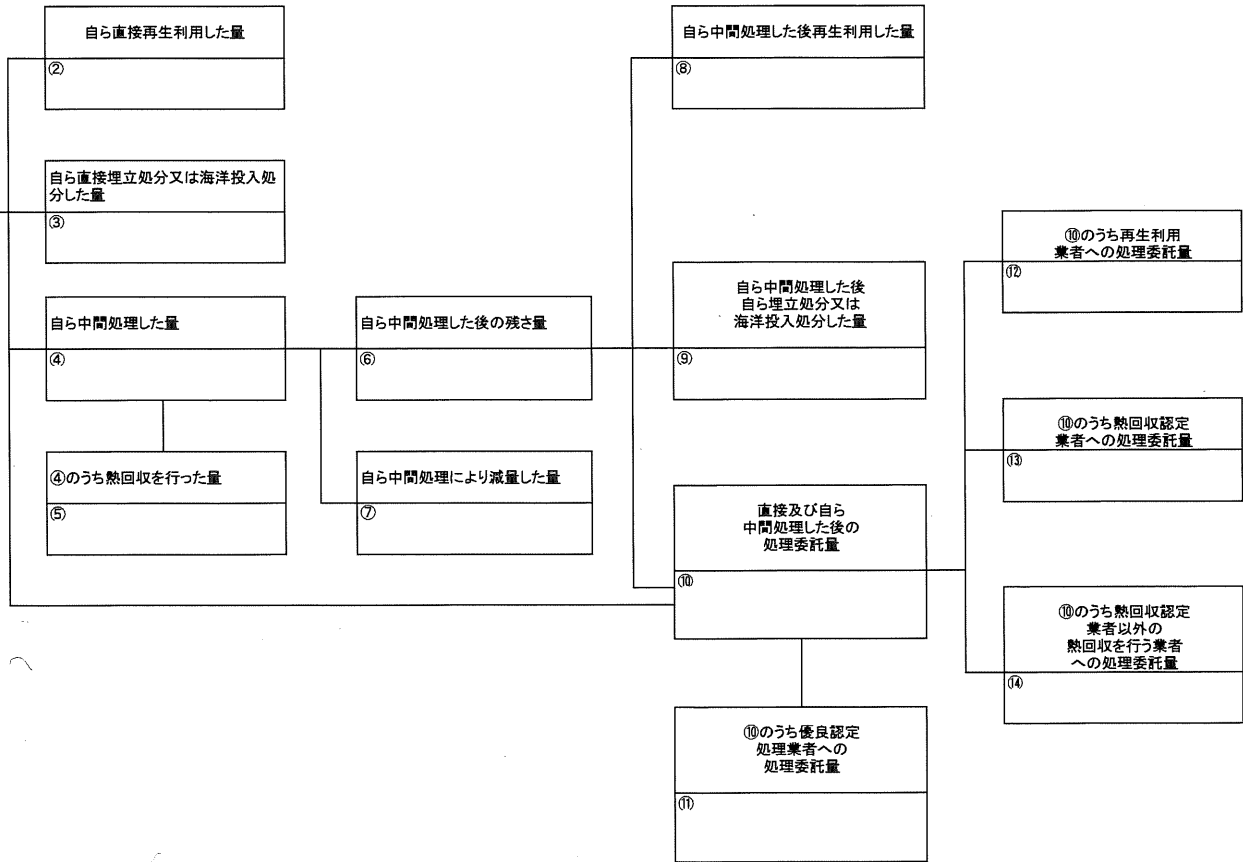
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2511.020 t	全処理委託量	484.380 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	404.880 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	394.770 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2026.640 t	認定熱回収業者への処理委託量	10.000 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	79.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)



別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(単位)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(2022年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類 コード 名称	①排出量	計 画 の 実 施 状 況				① ②のうちの優良認定処理業者への処理委託量(優良認定処理業者への処理委託量)				委託先による区分				②+⑤ 自ら再生利用を行った量	③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
		②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(全処理委託量)	⑪①のうちの優良認定処理業者への処理委託量(再生利用業者への処理委託量)	⑫①のうちの熱回収認定業者への処理委託量(熱回収認定業者への処理委託量)	⑬①のうちの熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(熱回収認定業者以外熱回収を行う業者への処理委託量)			⑭①のうちの熱回収認定業者以外の埋立処分を行う業者への処理委託量
100 燃え殻							0.000								0.000	0.000
200 汚泥	42.850						0.000			42.850	42.850	42.850			0.000	0.000
300 廃油							0.000								0.000	0.000
400 廃酸							0.000								0.000	0.000
500 廃アルカリ							0.000								0.000	0.000
600 廃プラスチック	64.710						0.000			64.710	44.780	64.030			0.000	0.000
700 紙くず							0.000								0.000	0.000
800 木くず	167.100						0.000			167.100	161.320	167.100			0.000	0.000
900 繊維くず							0.000								0.000	0.000
1000 動物性残渣							0.000								0.000	0.000
1100 ゴミくず							0.000								0.000	0.000
1200 金属くず							0.000								0.000	0.000
1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず							0.000								0.000	0.000
1400 鋳さい							0.000								0.000	0.000
1500 がれき類							0.000								0.000	0.000
1600 動物の糞尿							0.000								0.000	0.000
1700 動物の死体							0.000								0.000	0.000
1800 ばいじん							0.000								0.000	0.000
2522 廃蛍光灯	0.029						0.000			0.029	0.029	0.029			0.000	0.000
3520 廃乾電池	0.017						0.000			0.017	0.017	0.017			0.000	0.000
210 有機性汚泥	1,888.167			1,888.167		113.290	1,774.877			113.290	29.800	29.800		83.490	0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
							0.000								0.000	0.000
合計	2,162.873	0.000	0.000	1,888.167	0.000	113.290	1,774.877	0.000	0.000	387.996	278.796	303.826	0.000	83.490	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数量に関しては、小数点以下8桁表示して記入してください。
様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑩)に示す量を表に入力。